

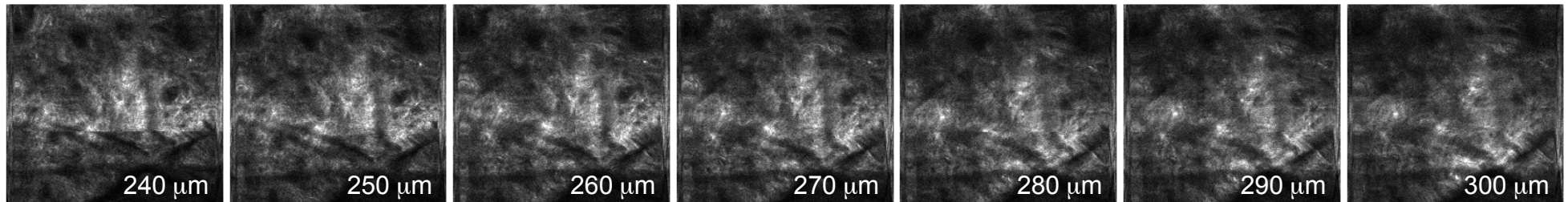
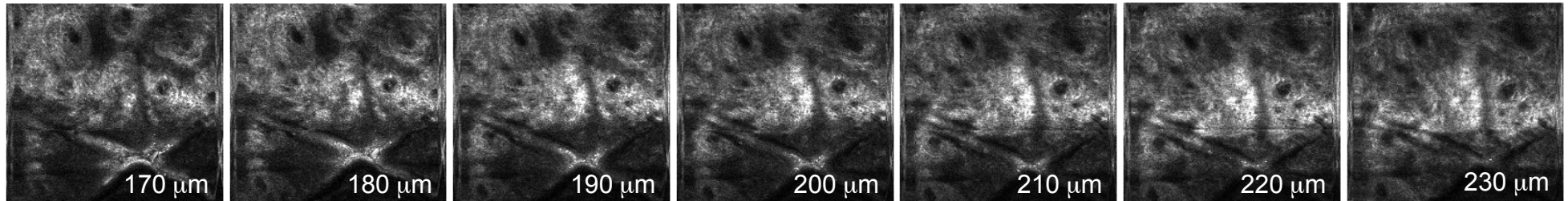
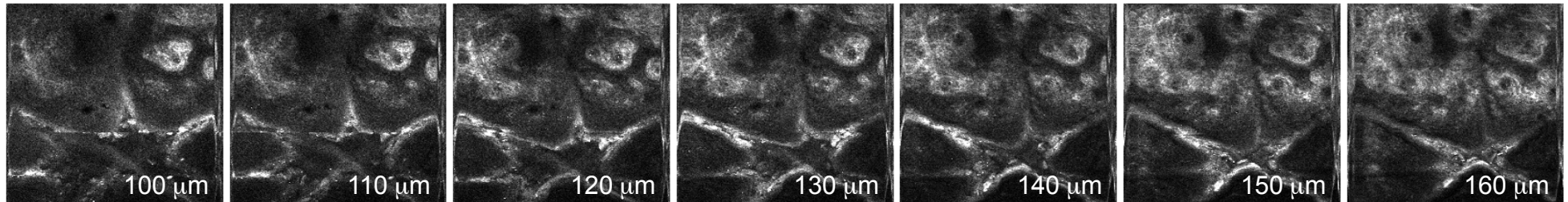
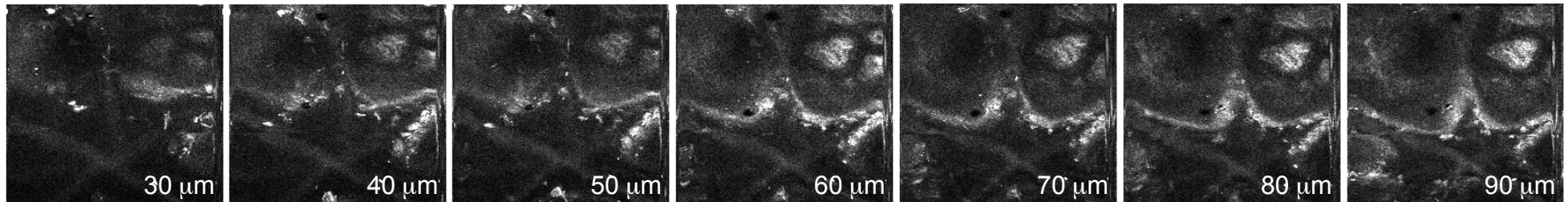
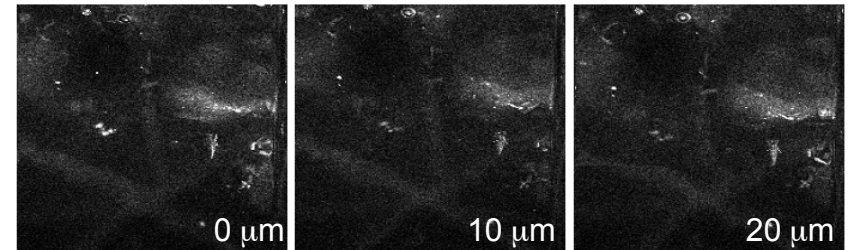
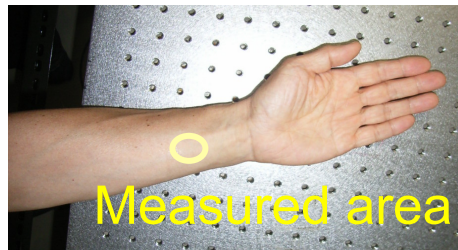
ヒト皮膚の *in vivo*計測

～コラーゲン線維構造の部位依存～

阪大基礎工ヒト試験倫理委員会 承認(No.21-1)

in vivo depth-resolved SHG imaging of human forearm

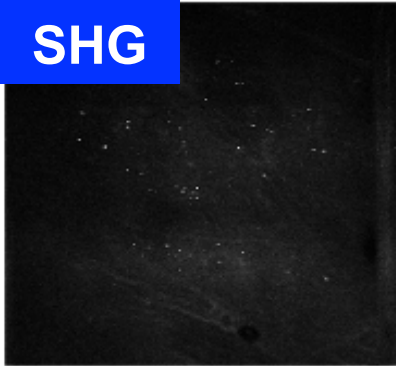
58-years male
area: 600×600mm
time: 2 sec/image



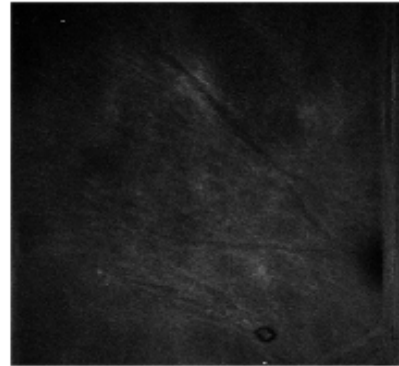
頬

イメージサイズ : 2.2×2.2 mm

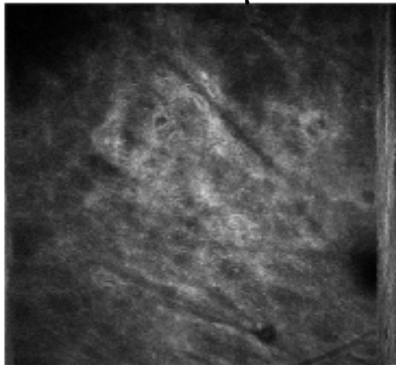
SHG



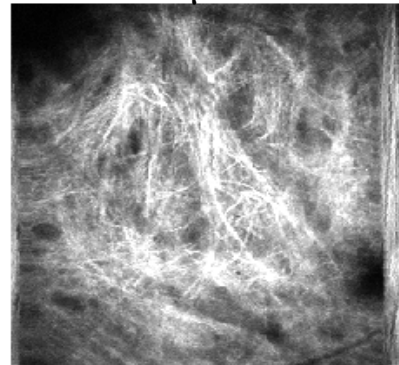
深さ = 0 μm



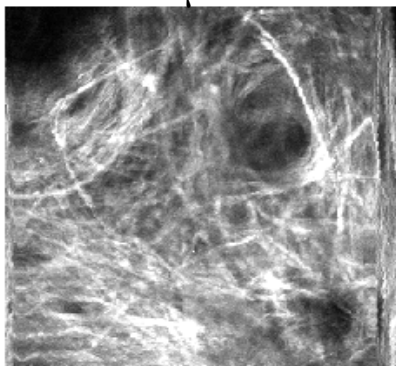
40 μm



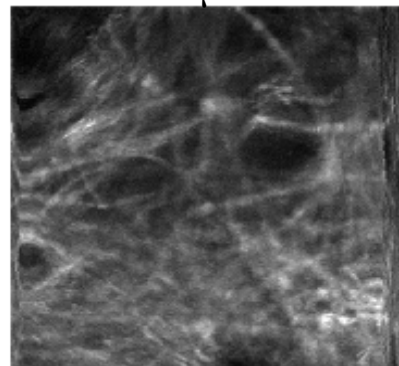
80 μm



120 μm

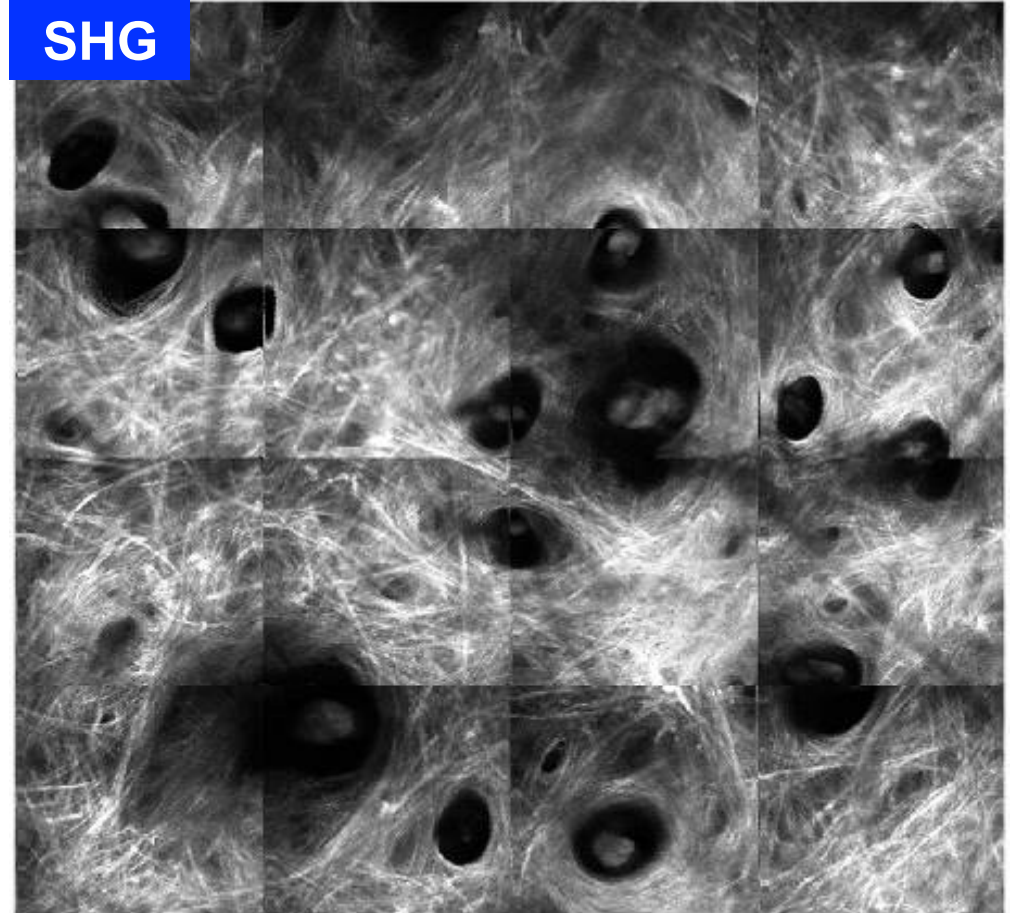


160 μm



200 μm

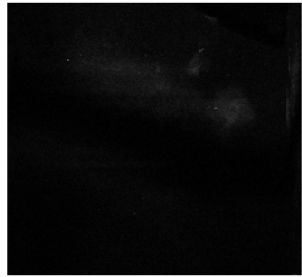
SHG



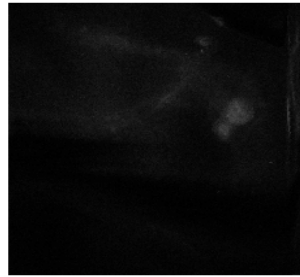
コラーゲン線維を鮮明に可視化できている。

毛包の数が多い。

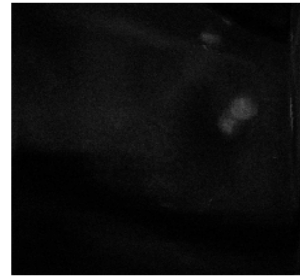
頬 (ミカン肌)



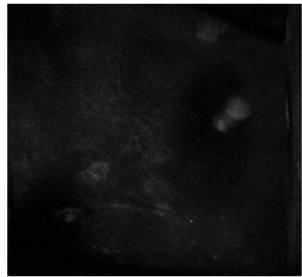
0 μm



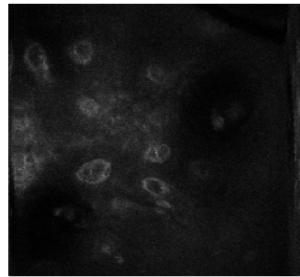
20 μm



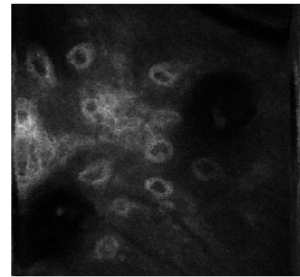
40 μm



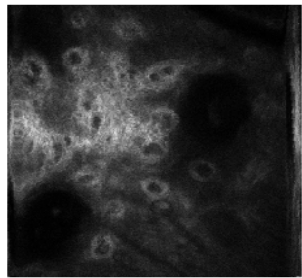
60 μm



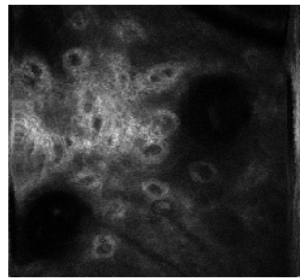
80 μm



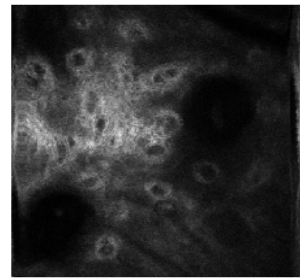
100 μm



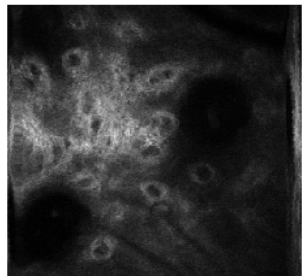
120 μm



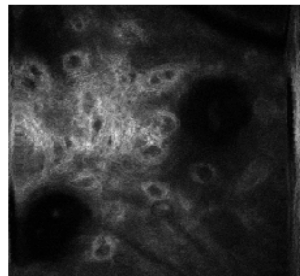
140 μm



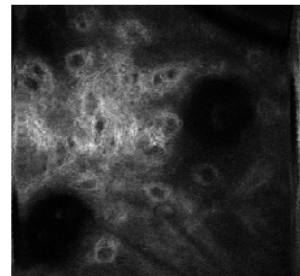
160 μm



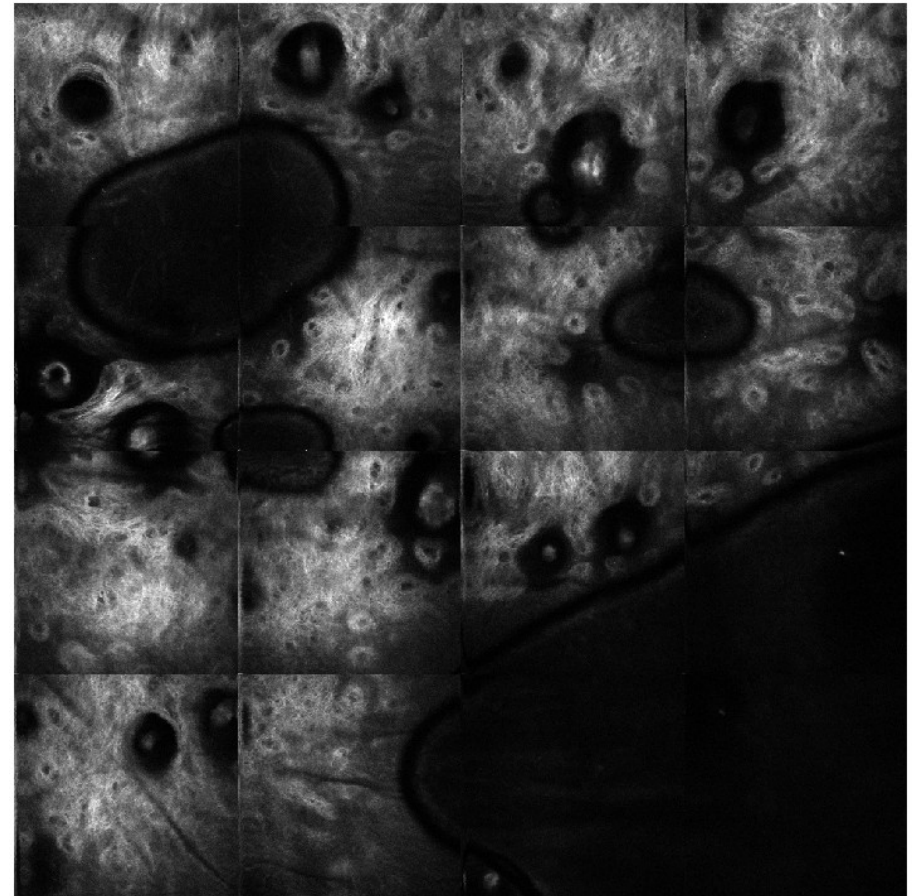
180 μm



200 μm



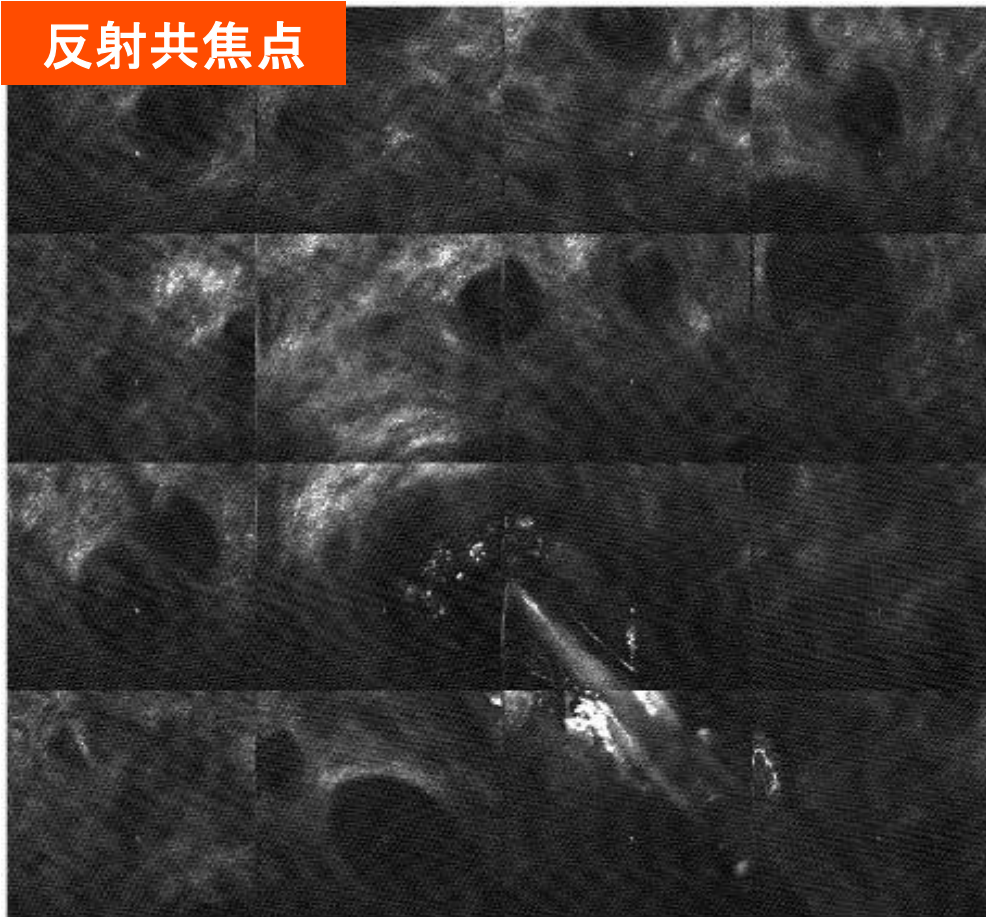
220 μm



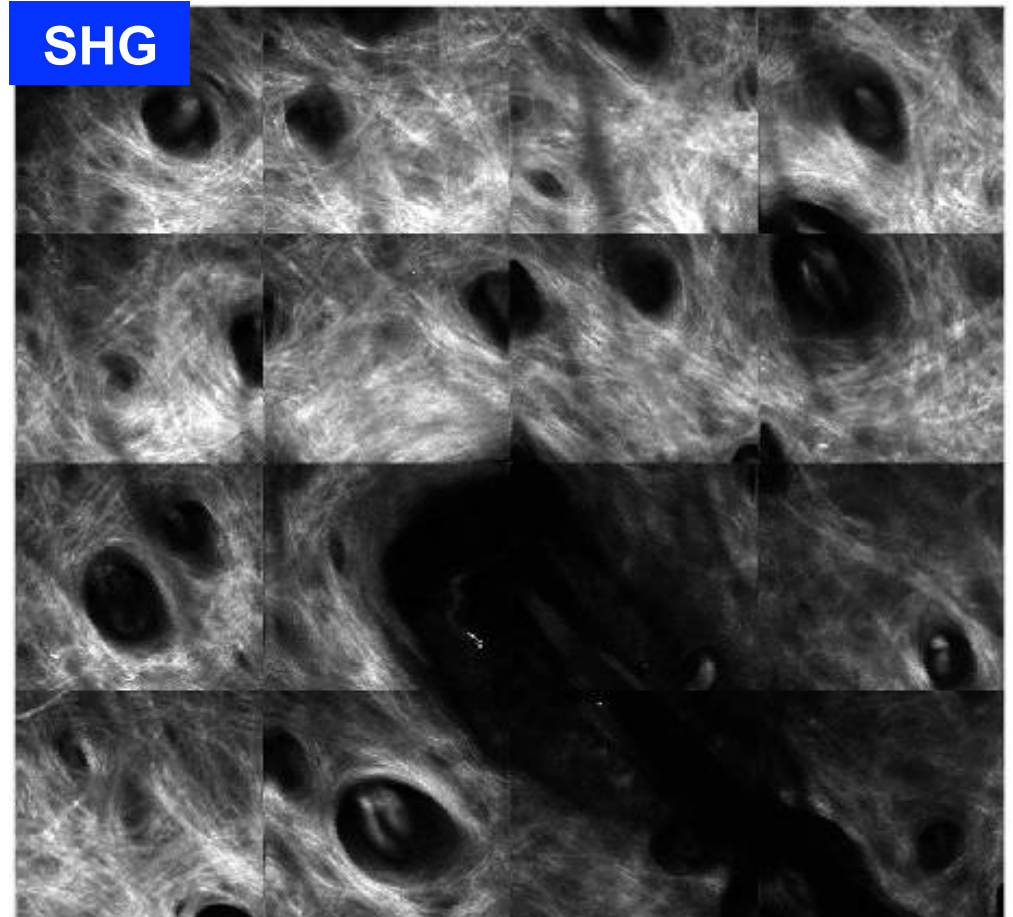
あご

イメージサイズ : 2.2×2.2 mm

反射共焦点



SHG

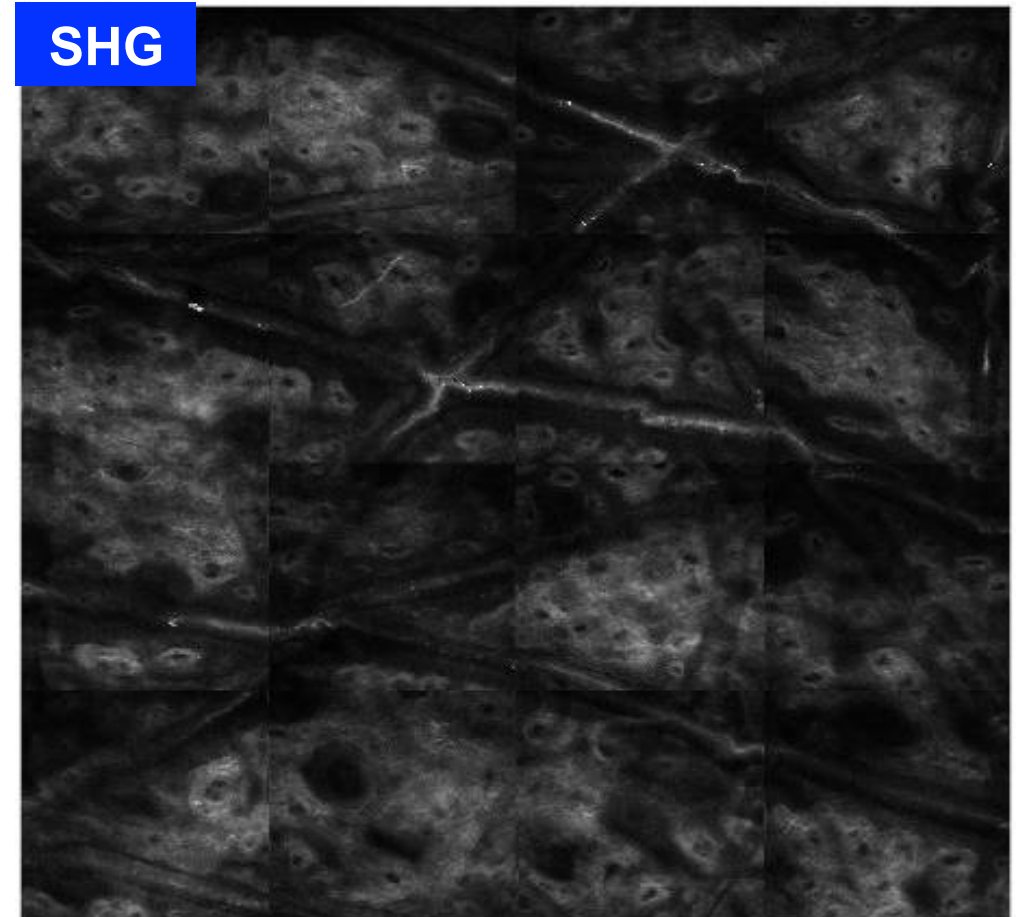
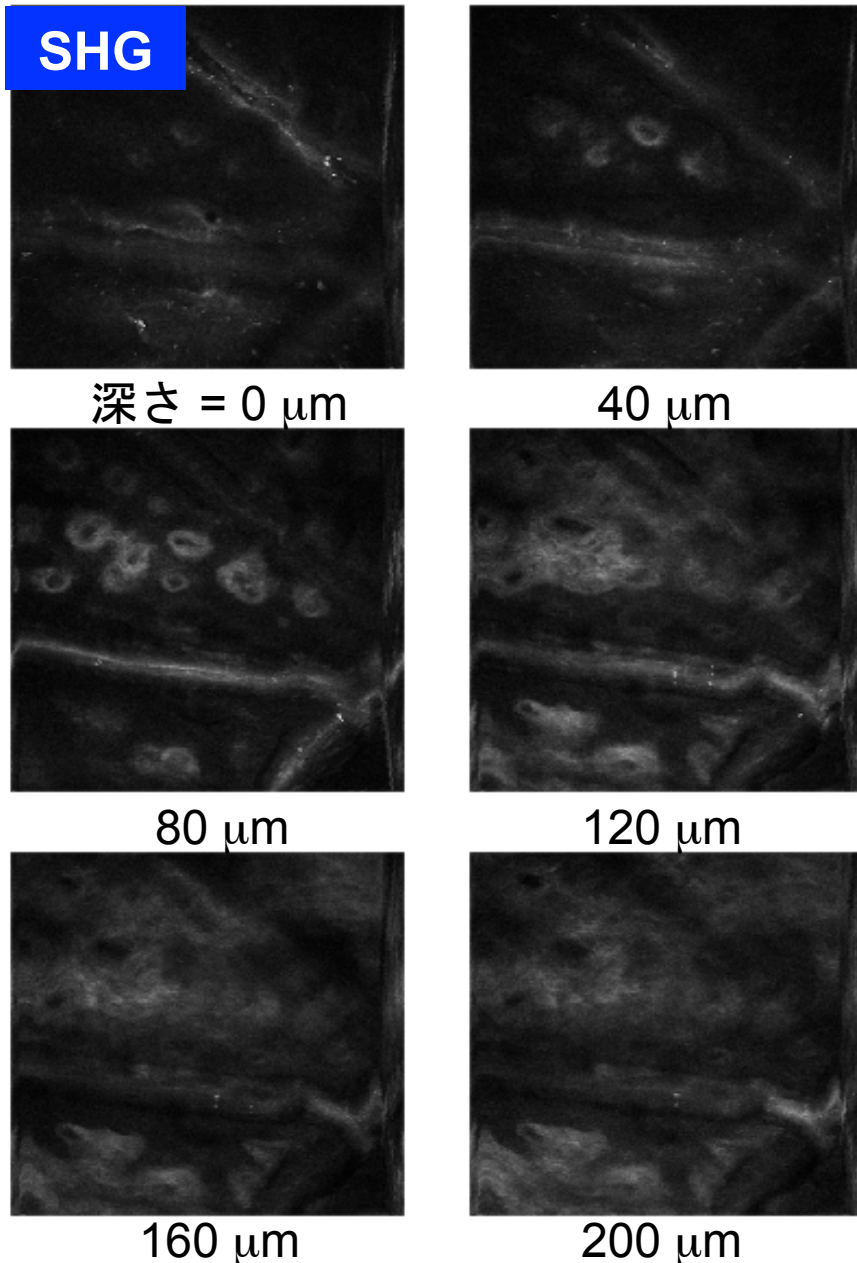


コラーゲン線維を鮮明に可視化できている。毛包の数が多い。

頬と同様のコラーゲン線維構造をしている。

手の甲

イメージサイズ : 2.2×2.2 mm



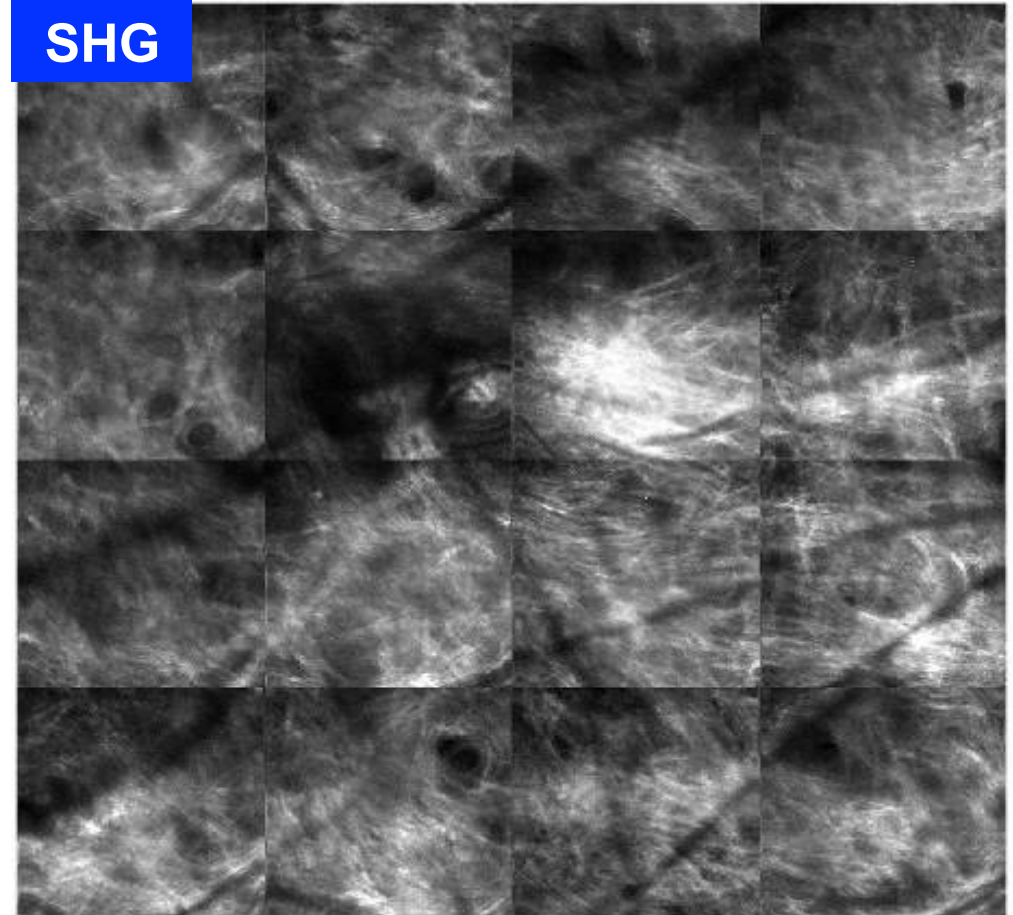
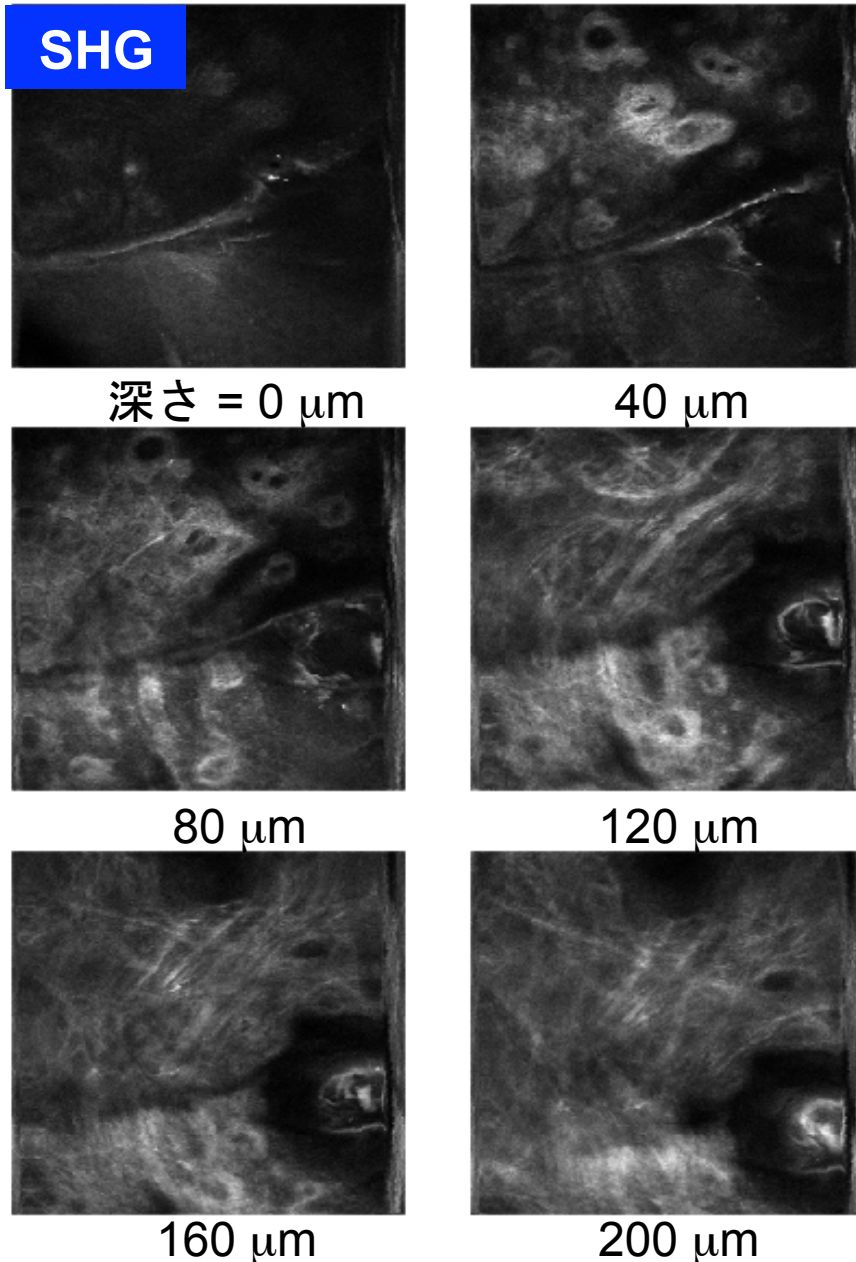
皮溝が多く存在する。

真皮乳頭層までしか到達できていない。

→ 表皮（角質層）が厚い？

前腕外側

イメージサイズ : 2.2×2.2 mm



顔面のような鮮明なコラーゲン線維は観察することができない。

毛包の数が少ない。

癍痕（縫い跡）

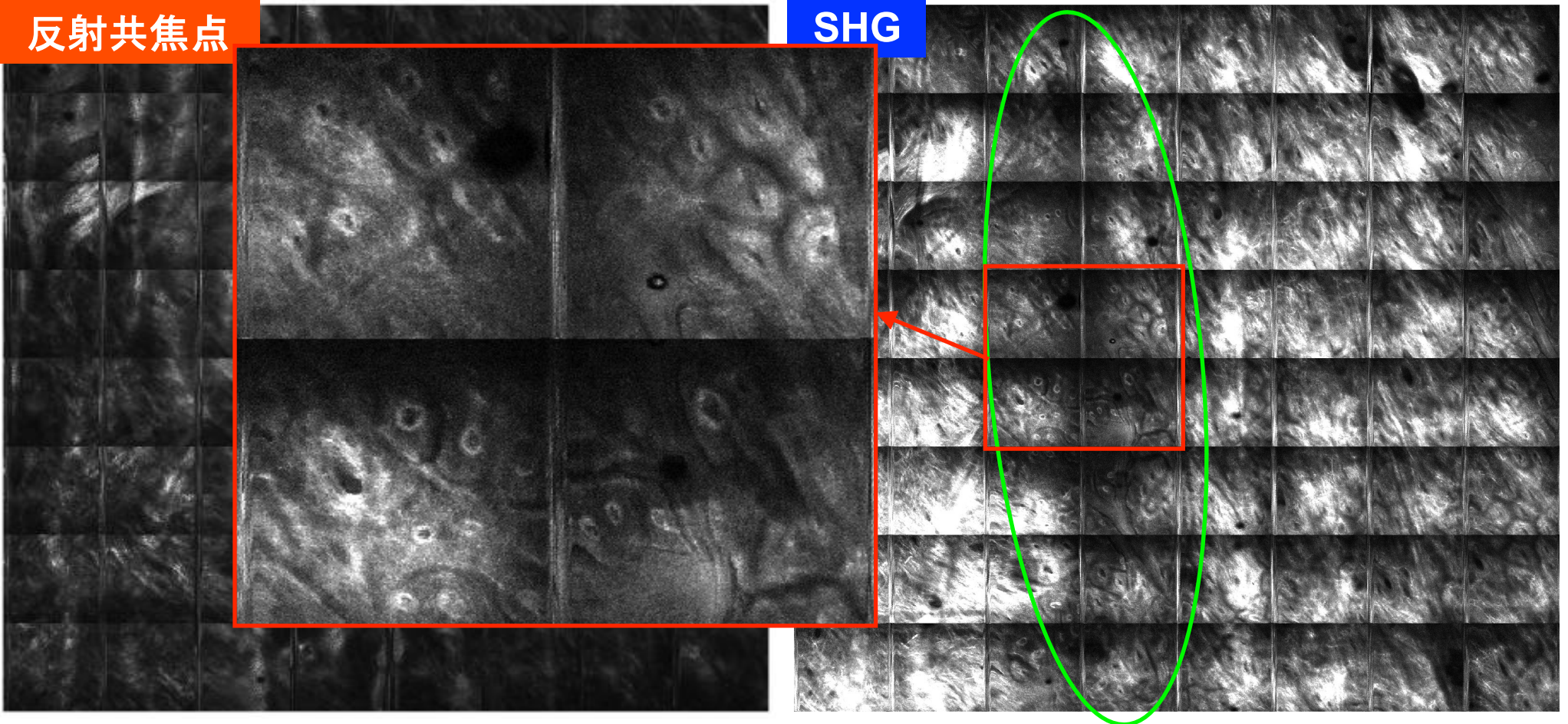
イメージサイズ：4.4×4.4 mm

乳頭層（＝浅い）がライン状に存在.



反射共焦点

SHG



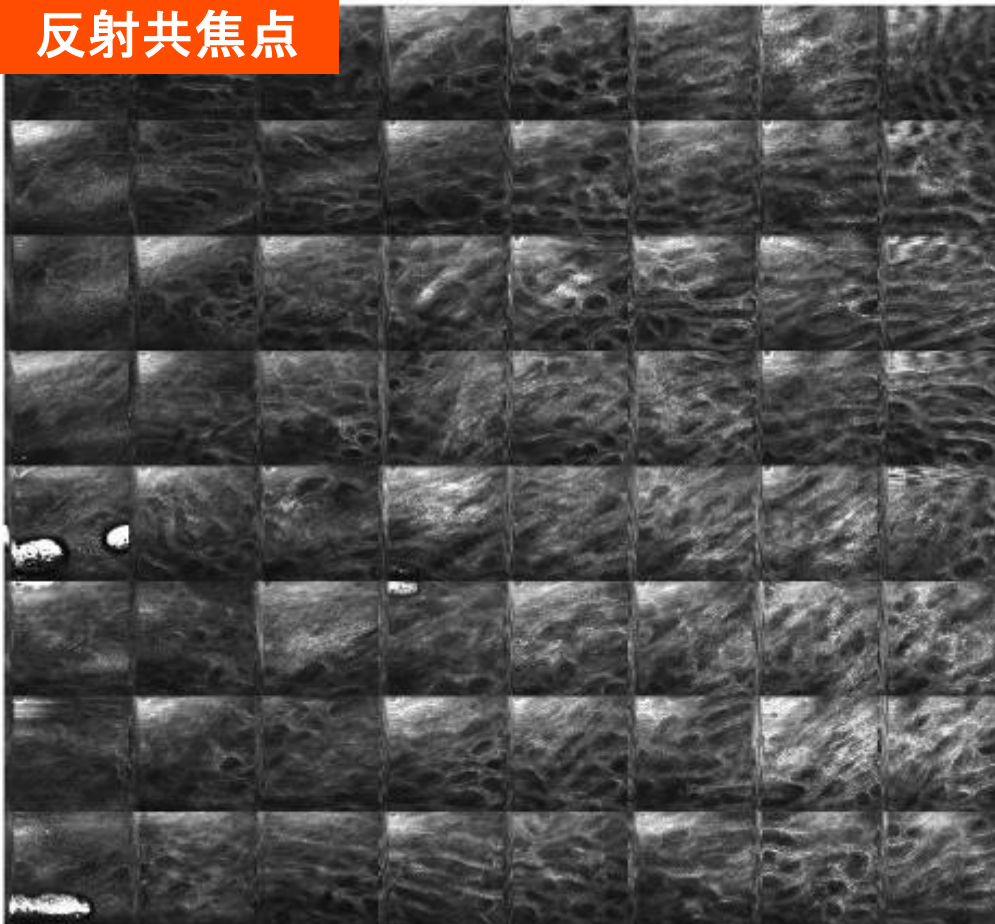
肥厚性瘢痕

イメージサイズ : 4.4×4.4 mm



コラーゲン線維の構築状態が異なる
瘢痕と肥厚性瘢痕でも違いを確認

反射共焦点



SHG

